

平成 30 年度における重要課題(盛岡広域振興局)

項目	現状と課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<p>3 農業・農村の次世代継承～産地の持続的な発展と農村地域の活性化</p>	<p><現状> 当圏域は県人口の1/3を抱える大消費地であるとともに、多様な産地を抱える農業地帯でもあることから、地域経済を維持発展させるためには、農業の振興が不可欠</p> <p><課題> 1 平成 28 年度にデビューしたオリジナル品種「銀河のしずく」は、栽培面積の拡大(H29:496ha→H30:999ha)に伴い、品質・食味の維持向上に向けた技術の徹底や、需要拡大に向けた首都圏や関西圏等大消費地における知名度の向上が必要</p> <p>2 園芸・畜産においては、高齢化や担い手の減少により作付面積や飼養頭数が減少していることに加え、特に大規模園芸においては労働力不足が規模拡大の阻害要因となっていることから、園芸では省力化技術の普及拡大及び出荷調整作業の効率化、畜産では乳用牛・肉用牛の共同管理施設等の外部支援組織の充実・強化が必要</p> <p>3 中山間等の条件不利地域では高齢化・人口減少が急激に加速し、農業生産活動や地域活動の維持が困難となっていることから、地域住民と地域外の若者等との交流拡大を通じた活性化が必要</p>	<p>【対応の方向性】</p> <p>1 「銀河のしずく」主要産地としての技術指導體制の確立及び認知度向上(県南広域振興局と連携)</p> <p>2 園芸:新技術の導入、農作業の外部委託や効率化などを通じた規模拡大 畜産:農家の牛の管理を共同で担う外部支援組織の充実・強化による規模拡大</p> <p>3 地域外から若者やインバウンド旅行客を受け入れ農村を活性化する体制整備</p> <p>【取組内容】</p> <p>1 「銀河のしずく」産地確立</p> <p>(1) 高品質安定生産技術を持つ「生産者マイスター」の認定拡大による生産者への技術指導強化</p> <p>(2) 首都圏における生産者と消費者の共同イベント開催(「東京都ごほん区」との連携PR等)、関西圏百貨店等での認知度向上PR</p> <p>2 収益性の向上</p> <p>(1) 環境制御などの最新技術^{*1}を活用した大規模園芸施設の設置に向けた事業導入支援、土地利用型野菜の大規模生産に向けた事業導入及び技術確立支援、野菜出荷調整作業の効率化(カイゼン等)実証</p> <p>(2) 県央地域初の繁殖・育成センター^{*2}設置に向けた事業導入支援</p> <p>3 交流拡大促進による農村地域の活性化</p> <p>(1) 農村における地域活動に若者(学生等)がボランティアで参加し支援する農村サポーター活動の実証(盛岡市大ヶ生、八幡平市横間、葛巻町江刈川)</p> <p>(2) インバウンド旅行客の受入れ拡大に向けた体験ツアーの実施など先行モデルの創出(雫石町)</p>	<p>※1 環境制御などの最新技術:気象センサーなどの各種機器を利用して施設(ハウス)内の環境を測定し、得た情報を元にリアルタイムで施設内を最適な環境に制御する技術</p> <p>※2 子牛や繁殖雌牛等を集中管理するための共同利用施設。牛を一定期間まとめて施設に預けることで、農家の労力を軽減するとともに飼養頭数増を図るもの</p>